

三和精工株式会社

ナット、冷間圧造品、
特殊加工品で飛躍を目指す納期
相談
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット

切削ナットなど三和精工が手がける製品群

業務
内容3製品を事業柱に
複合加工機で5軸加工

昭和14年の創業時から手がける切削ナット、昭和54年に始めた冷間圧造品、平成21年に参入した特殊加工品の3製品を事業の柱とする。削りの技術を駆使した切削ナットは建設機械や橋梁、車両など幅広い分野で使用される。冷間圧造品は塑性加工のノウハウを蓄積し、エアバックや足回りなど自動車関連部品が中心だ。特殊加工品は若手社員らがナット以外の「当社の『売り』を作ろう」との思いで取り組む。約1億円を投じて複合加工機を導入し、5軸加工の可能性を探る。大型ターマパークの遊技機械や新幹線向けの部品を受注するなど新規開拓にもつながった。

強み

匠の技を活かす
積極的な設備投資を实践

切削ナットは70年を超えるものづくりで培った匠の技を持つ。ネジが規格通り作られているかを検査するゲージ類は約800本をそろえ、高精度の製品造りに役立てる。設備投資も積極的で、最先端の工作機械や検査設備、3次元CADなどハード・ソフト面とも充実。取引先へのVA（価値分析）提案も活発に行う。社員の平均年齢は30代後半で、工場内には女性を含め若手・中



女性も活躍する活気ある生産現場

国内
生産自動ナット盤を更新
日本に残るものづくりを目指す

堅の姿が目につく。複合加工機は導入時、担当者が必死で勉強し操作をマスター。複雑形状や難削材の加工など難しい案件にも意欲的に取り組む。

日本で競争力を向上できるものづくりに挑戦する。切削ナットでは、自動ナット盤の更新を平成23年から始め、高精度タイプへ1台づつ改良を進める。CNC（コンピューター数値制御）旋盤などすべての生産設備は特別仕様。複合加工機は3次元CAD/CAMと組み合わせ、ものづくり力強化の武器にする。「日本に残るものづくりは、品質や性能で付加価値をつけ、試作を含めた多品種・少量生産の対応が重要になる」と木村専務は語る。加工材料もメイドインジャパンにこだわる。

今後の
展望展示会で加工技術をPR
月間売上高1億円へ

平成25年10、11月に大阪で開催された三つのものづくり系展示会へ相次ぎ出展した。多様なサンプル品を作り、加工技術をPRする。平成26年6月に東京で行われる展示会にも出展を決めた。「ナットを大事にしつつ、新しい金属系の加工品にもどんどん挑戦していく」と意欲を見せる。事業を取り巻く環境は厳しいままだが、当面の月間売上高目標は1億円を定める。今後も3製品を事業柱に据え、バランスのとれた製品戦略を推進する。平成26年に迎える創業75周年へ向け、さらなる飛躍を目指す。

COMPANY PROFILE

三和精工株式会社

大阪
25

ISO 9001

当社の
歴史

切削ナットメーカーとして創業した。創業以来、社名の由来である「得意先」「仕入先」「従業員」の三つの和をもって、顧客の要求に合ったものづくりを行う。「品質は私たちの心で創られ、私たちの心を込めてカタチ（製品）になる」という信念がある。永年培われてきた職人の匠の技と、最新鋭の生産設備をもって、顧客ニーズに応えられる製品造りに励んでいる。

経営理念に「品質は、心です」を掲げ、
顧客視点のものづくりを行う

代表取締役社長 木村 進次さん



■主な事業内容

切削ナット、精密ねじ部品、精密特殊加工品の製造、冷間圧造パーツの製造

■主な取引先（納入先）

重機部品メーカー、産業機械メーカー、建設機械メーカー、ネジ部品商社

住所／〒599-8127
堺市東区草尾
62
TEL／072-236-0381
FAX／072-236-0100
創業／昭和14年2月
設立／昭和27年4月
資本金／3,000万円
従業員／50名

<http://www.sanwa-seiko.co.jp>